

授業科目名 (英文名)	教職実践演習 (Practical Seminar for the Teaching Profession)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	4年次・後期
担当教員	竹内 和雄 芦田 宏 尾崎 公子 保坂 裕子 井上 靖子 乾 美紀	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的：学校教員になるための学びの集大成として、以下の到達目標を達成するために、課題学習（ロールプレイング）、学校訪問、履修カルテ記入、模擬授業等の実践的演習を行う。</p> <p>達成目標：学校教員としての意欲、使命感や責任感にあふれ、教育的愛情を持って生徒を理解し接するとともに、他の教師等と協働し、学校運営する能力を身につけ、学校においてその能力を発揮できる資質能力、ICT活用指導力を身につける。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 教師になるための「学びの軌跡の集大成」として、教師としての使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、生徒理解や学級経営等に関する事項、教科内容等の指導力に関する事項について学ぶ。</p> <p>授業計画</p> <p>第1日目 1．オリエンテーションとこれまでの学習の振り返り（履修カルテから） 2．自らが目指す教師像（教育的使命感、責任感を中心に） 3．教師としての社会性や対人関係能力（教師同士の協働、保護者や地域との連携） 4．生徒理解と学級経営</p> <p>第2日目 5．模擬授業の計画立案 6．模擬授業のための教材、教具の工夫 7．模擬授業のための教具の作成 8．学校見学に当たっての視点の確認</p> <p>第3日目 9．授業を含む学校見学 10．授業の立案、実践に関する教師との対話 11．学級経営に関する教師との対話</p> <p>第4日目 12．課題を抱える生徒への指導と援助 13．模擬授業の実施と検討会1（教科A、B） 14．模擬授業の実施と検討会2（教科C、D） 15．授業の総括（教師としての資質の自己評価）</p>		
テキスト	『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』：生協にて販売予定		
参考文献	（教科別）『学習指導要領解説書』		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 「学校教員としての意欲、使命感や責任感にあふれ、教育的愛情を持って生徒を理解し接するとともに、他の教師等と協働し、学校運営する能力を身につけ、学校においてその能力を発揮できる資質能力」が身についた者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 課題レポート、グループ討議、ロールプレイング、教授法の工夫及び模擬授業（各20%）を基準として、受講態度（積極的な発言や質問等）を含めて総合的に評価する。</p>		

履修上の注意・履修要件	<p>教育実習を含めて全ての教職課程の科目を履修済み、および同年度に単位取得見込みであるもの。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	<p>学校現場における教員経験がある者(芦田、竹内)が、その経験を活かして教師としての使命感、社会性や対人関係に関する事項、生徒理解、教科内容の指導について指導する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・11月からの変則的な集中講義なので、開講日に気をつけること。 ・100%教師を目指す気持ちで受講することを前提とする。